


令和4年度 基本評価調書①		所管部局	総務部	所管課	財産課		
施策名	赤れんが庁舎の利用促進			施策コード	0106		
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)B		
関連重点戦略計画等	創生総合戦略 強靱化計画					事務事業数	1
SDGs				総合判定	判定不可		
予算額(千円)	R4	1,296,798	R3	243,644	R2	55,780	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るとともに、文化・観光情報の発信施設として魅力向上を図る。</li> <li>重要文化財としての価値を損なわない範囲で、地震時の安全性確保や活用に当たっての利便性向上に向け、修復及び改修方法や改修後の具体的な活用方法を検討する。</li> </ul>	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要文化財である「赤れんが庁舎」については、様々な活用が期待されている。</li> <li>赤れんが庁舎は、1968(昭和43)年に復原改修を行って以来、建物や設備の老朽化が進んでいるほか、耐震対策やバリアフリー対策など、改善すべき課題がある。</li> <li>令和元年10月から令和6年度までの工事期間中は赤れんが庁舎内を一時的に閉館する。</li> </ul>	
前年度二次評価意見	—	対応状況(R4.3時点) —

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<p>「重要文化財北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)保存活用計画」及び「赤れんが庁舎リニューアル基本指針」を踏まえ、修復及び改修並びに活用方法等の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度までの部分的な解体調査を踏まえ、今年度から本格的に改修工事を開始しており、屋根の葺替えや外壁の修理の際に重要文化財である赤れんが庁舎を雨、風から保護するため、建物全体を覆う「素屋根」を建設し、素屋根の内部で耐震改修工事や保存修理工事等を開始するとともに、工事の様子を間近で見学できる仮設の施設を設置し、工事内容などを紹介する。</li> <li>北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点としてふさわしい施設となるよう展示方法や管理運営手法について検討を進めた。</li> <li>ホームページでの周知など赤れんが庁舎改修事業への寄附の募集を行った(R3寄附実績:102件・61,166千円)。</li> </ul>

連携状況	赤れんが庁舎は重要文化財として国の指定を受けた歴史的建造物であり、文化庁とも連携して改修を進めることで、適切な文化財の保存が図られた。
緊急性優先性	—

令和4年度 基本評価調書②	施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	0106
---------------	-----	-------------	-------	------

<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	人	H29年度	H30年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
赤れんが庁舎入館者数	目標値	—	—	—	810,000	—	—
	実績値	689,580	695,905	—	—		

設定理由 総合計画における政策の方向性「先人から受け継いだ財産を生かした新たな展開」の観点から、情報発信拠点として活用する効果を測る指標として設定。

分析（主な取組と成果）

令和元年10月から改修工事のため閉館しており、入館者数の把握が不可能となっている。

指標名②		R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値					—	—
	実績値						

設定理由

分析（主な取組と成果）

指標名③		R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値					—	—
	実績値						

設定理由

分析（主な取組と成果）

【総合判定】

連携状況	—	緊急性 優先性	—	指標判定	—	総合判定	判定不可
------	---	------------	---	------	---	------	------

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るため、文化財としての価値を損なわない範囲で、地震時の安定性確保や活用にあつての利便性向上に向け、改修を進めるとともに、北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点としてふさわしい施設となるよう展示等の整備や効果的な管理運営手法の導入を進める。
	②	
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	0106
---------------	-----	-------------	-------	------

<二次政策評価>

R4年度 二次政策 評価	
--------------------	--

二次政策 評価への 対応			
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るため、文化財としての価値を損なわない範囲で、地震時の安定性確保や活用に当たっての利便性向上に向け、改修を進めるとともに、北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点としてふさわしい施設となるよう館内の展示等整備に係る設計や指定管理者制度の導入に向けた取組を進める。	拡充：庁舎等維持営繕費（赤れんが庁舎改修事業）
	②		
	③		
R5新規事業数			

